

北海道大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

北海道大学病院における Extended Spectrum beta(β) Lactamase (ESBL：基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ) 産生菌による血流感染および肺炎の臨床的検討

[研究機関] 北海道大学病院感染制御部、内科 I

[研究機関の長] 北海道大学病院長 寶金 清博

[研究責任者] 石黒 信久 (感染制御部・部長)

[研究の目的] ESBL 産生グラム陰性菌の臨床像を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院に入院した患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に、血液あるいは喀痰の培養検査で大腸菌あるいはクレブシエラ菌が検出された方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、培養検査、画像検査）
入院期間、既往歴・合併症の有無、治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 1 担当医師 長岡 健太郎

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899